



2021年度
年間聖句

主は人の一步一步を定め 御旨にかなう道を備えてくださる。
人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえていてくださる。

詩編37篇 23節～24節

大切にしているところ

広島女学院院長・学長
三谷 高康



4月1日から歴史と伝統ある広島女学院の院長、大学学長に就任致しました三谷高康でございます。就任後4カ月(7月末現在)が経過し、牛田キャンパスにも親しみを覚えるようになりましたが、同時に責任の重さと役割の厳しさをひしひしと感じております。就任以来、コロナ蔓延防止のため1か月以上も遠隔授業を強いられましたし、また、対面授業を再開したものの豪雨により急遽、オンライン授業に変更したこともありました。その都度、学生や教員はしっかりと対応に努め、大きな問題も生ずることなく2021年度前学期を終えようとしています。

広島女学院は聖書の教えを建学の精神とし、135年の長きにわたって教育活動を続けてきました。その精神は中学・高校、大学ではキリスト教を正科目として位置づけ、また幼稚園では保育活動を通じて、教え伝えてきました。女学院のみならず日本各地のキリスト教主義学校では、キリスト教を「愛の宗教」という点に力点を置いて、宗教教育を進めてきたと思います。しかし、この「愛(アガペー)」を、学校で初めてキリスト教に触れる人々に教えるのは、私の経験から、工夫と忍耐が必要とされます。

16世紀の中頃、最初にキリスト教を伝えたイエズス会の宣教師達は、この「愛」をいかに日本語で伝えるかに苦慮しました。そこで、新約聖書の代表的な教えである「あなたの敵を愛しなさい」を「わが身にあだなす人を、なおご大切をもって報ずる道」と説き、民衆に理解を求めたのでした。

500年近く経過した現代でも、「愛」を「大切」と置き換えたほうが分かりやすいのではないかと。そう思えてなりません。

「隣人を愛する」は「隣人を大切にする」

「家族を愛する」は「家族を大切にする」

「仕事を愛する」は「仕事を大切にする」

「自然を愛する」は「自然を大切にする」

キリスト教はすべてを大切にしている宗教だと説くと、なんだか今まで以上に身近に感じることができます。

私たちは広島女学院に集うすべての園児、生徒、学生、教職員、そして卒業生を大切に、学校を大切に。この「大切にしているところ」こそが建学の精神の具現化ではないでしょうか。

広島女学院を大切にしている気持ちをもって、院長の役割を務めたいと強く思うものです。

2021年度全国代表者会議

2021年度全国代表者会議は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を断念し、議決権行使書による書面決議を行った。決議の結果2020年度事業報告・会計報告、2021年度事業計画(案)・予算(案)についてのすべての議案について、三分の二以上の賛成をもって可決された。

支部長交代

就任	退任
愛知支部長 大澤 智子 (高25文英7)	愛知支部長 小西 光子 (2020年4月付け)

2020年度 収支決算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで 広島女学院同窓会 2021年3月31日作成(単位:円)

収入の部	科目	2020年度予算	決算(2021.3.31)
	同窓会会費	7,500,000	7,530,000
	大学 15,000円×272	3,975,000	4,080,000
	高校 15,000円×230	3,525,000	3,450,000
	会友	0	0
事業収入	1,700,000	1,059,840	
	グッズ販売	1,200,000	904,950
	バザー	500,000	154,890
雑収入	30,000	710	
受取利息	0	68	
寄付金	0	50,000	
前年度より繰越金	11,710,005	11,710,005	
合計	20,940,005	20,350,623	

支出の部	科目	2020年度予算	決算(2021.3.31)
	事務費	1,630,000	1,460,032
	消耗品費	300,000	141,412
	備品費	300,000	288,620
	人件費	1,030,000	1,030,000
事業費	3,790,000	2,466,974	
	全国代表者会議費	800,000	26,638
	宗教委員会費	110,000	7,000
	事業委員会費	1,200,000	961,120
	バザー委員会費	120,000	770
	同窓会報編集委員会費	1,280,000	1,263,230
	学年幹事・名簿委員会費	180,000	99,536
	ホームカミングデー補助費	100,000	108,680
母校支援費	1,900,000	1,633,298	
	アイリスセンター維持費	600,000	600,000
	ゲーンズ奨学金	800,000	800,000
	卒業証書カバー補助	500,000	233,298
通信費	190,000	153,875	
	電話料	120,000	94,560
	郵税	70,000	59,315
旅費交通費	600,000	120,000	
同窓会館運営費	160,000	141,134	
	水道・光熱費	140,000	133,007
	消耗品等	20,000	8,127
慶弔費	200,000	6,809	
寄付	3,000,000	3,200,000	
雑費	500,000	490,772	
予備費	200,000	0	
平和祈念式口座へ繰入	50,000	50,000	
基本金引当資産へ繰入	0	0	
(小計)	12,220,000	9,722,894	
	次年度へ繰越	8,720,005	10,627,729
合計	20,940,005	20,350,623	

寄付 2021年4月～2021年6月

高橋和子様(高9大英9)	10,000円
森井厚子様(高6)	4,000円
鍵本紀文様(高6短5)	4,000円
中川敬子様(高6短5)	4,000円
竹村郁子様(高6)	4,000円
匿名(1名)	15,000円
2020-2021HCD実行委員会	332,245円

2021年度年間行事予定

11月3日(水・祝)	同窓会バザー (中止)
12月9日(木)	同窓会クリスマス(宗教委員会)
2022年1月18日(火)	高校 同窓会受入式
3月11日(金)	大学 同窓会受入式

同窓会バザー中止のお知らせ

2021年11月3日に予定されておりました同窓会バザーは、学校PTAバザーの中止にともない開催を見送ることになりました。

同期会(高19)延期のお知らせ

今年予定しておりました高校19回同期会は来年秋に延期します。
担当Eクラス 中村順子(井上)



謹んで哀悼の意を表します。

佐々木 二子(実本) 高14大英14	矢野 光代(高山) 高14
津田 幸子(玄道) 高女45	鍵本 満知子(田村) 高3大英3
内田 和子(福田) 高15	荒巻 浩子(荒巻) 高8
日原 治子 高女51	長崎 政(宇野本) 高女47専家21
小島 裕子(宮崎) 専家22	西本 了子(井上) 高5
伊達 喜子(奥) 高女48	竹内 照子(天田) 短11
今朝丸 芳枝(中島) 高女51	藤原 摂子(阪田) 専庭8
平井 晶子(寺島) 高女48専家22	田中 佳枝(檜山) 高23
南 初代(野村) 短6	東方田 恭子(升本) 専被2
橋本 洋子(楠) 文英4	森脇 和子(植野) 高11短10
沢野 道子(江原) 高18大英18	山本 末子(飯田) 高女49専庭7
田部 侑子 高18	大下 三千代(本田) 高16大英16
佐々木 明子(木村) 高6	新谷 信子(西川) 短12
山田 由香(梅田) 高33短32	光田 節子(光田) 専家26
大山 美恵子(瀬川) 高女52専英24	佐藤 由紀子(山本) 短12
井上 直子(大森) 大英5	山本 明子(新田) 高5
瀬戸山 幸枝(西塚) 高2大英2	松谷 伊都子(渡辺) 高女51
山川 帛江(道下) 高女47	大上 光子(大上) 短1
難波 愛子(藤原) 短2	藤岡 郁代 大英14
東 洋子(石井) 高4	田村 幸子(福尾) 高女55
桜井 幸子(三田) 大英14	河野 澄子(梶川) 高女48
國西 恵美子 高11	藤岡 政子(平井) 専保2
音山 幸子(堀田) 高女49	宮久保 路子 短21
熊谷 恵利 大英13	山下 スミエ(住田) 高女53
瀬尾 典子 高31	羽田 和江(岡本) 高13
江島 美恵(影広) 短24	巻島 冬子(藤本) 専家2専英12
古本 友恵 高19文日1	石井 良子(新原) 短21
大島 テル子(新井) 高女52	三浦 郁子(西岡) 高女51
目方 澄子(平山) 短11	高橋 和歌子(池田) 高女44
中村 住枝(桑原) 高16	福永 喬子 専家27高1短1
浜尾 美智子(林) 専家26	古川 奈美 文英22
松永 道子(松永) 短2	正木 敏子(川手) 高女47

2020年12月から2021年7月までにご逝去のお知らせをいただいた方々です。(敬称略)



2年目に突入したコロナ禍の中で、2年越しとなったホームカミングデーが無事開催できたこと、「ヒロシマへの誓いーサーロー節子とともにー」の映画が多くの人々に鑑賞されたこと、これらは私達同窓生にとってとても喜ばしい出来事でした。

オリ・パラリンピックや様々なイベントが以前とは違った形で行われていますが、同窓会も各地域・各支部での活動が少しずつ動き始めています。

どんな困難な時でも凛として清々しく咲く「花あやめ」で在ることの大切さを感じています。

ホームカミングデー実行委員会の委員長を務めて

HCD実行委員会委員長 鳥井 操(高20)

4月24日ホームカミングデーの当日、コロナ禍により滋賀県在住の私の姿は会場にありませんでしたが、例年とは違う形で会場のうちに無事終わりました。その感動を実時間で味わえなかったのは悔やまれますが、2年にわたる肩の荷がやっと下ろせました。

今後も同様の状況は起こり得ます。たとえ同じ場所に居なくても、「繋がっている」「続いている」感覚を共有していきたいと強く思いました。

実行委員会は昔の生徒会と重なり、高校1年で転校した私には、楽しい追体験となりました。同期の皆さん、妹世代のミドル、娘世代のジュニアの皆さん、本当にありがとうございました。

コロナ禍でのホームカミングデー

HCD実行委員会副委員長 岸本 佳代子(高30文英12)

一昨年6月に2020ホームカミングデー実行委員会がスタートしました。「継承～ひとりひとりがそのピースに～」のテーマのもと準備を進め、開催まであと1か月となった昨年3月に新型コロナウイルス感染拡大のため10月に延期となり、そしてさらに翌年4月へと再延期となりました。感染対策を施して会食なし、半額返金、お土産つきと前代未聞の形式で開催しました。

一番困ったのは、当日の感染状況が誰にも予測できない中で開催準備を進めてもよいものか、いっそのこと中止とするべきか正解がないことでした。そこで、同窓会本部幹事の皆様にご相談し、「感染状況が悪化したら中止という選択肢も残したまま、今はとにかく開催準備を進めていこう。本部幹事も手伝います!」と背中を押される判断と力をいただいたのが開催3か月前でした。

しかし、実行委員それぞれ体調も家庭環境も職場環境も違う中、自ずと準備への関わり方も違い、「みんなが心をつなげて」が難しい状況となりました。そんな中、参加できない人の遺憾な思いに心を寄せ、「できる人ができることをすればよい」という考えを共有できたのは、女学院で培われた赦し合い感謝する寛容の心があったからこそでしょう。

おかげさまで162名の方にご参加いただき、会食なしゆえに厳粛な雰囲気の中開催することができました。湊晶子前院長学長の「ブドウは砕かれて美味しい葡萄酒になる」というお言葉から力強い再生のメッセージをいただきました。三谷高康新院長学長のお話からは、温かいお人柄と強い信念が伝わりました。(株)序破急の蔵本順子さん(文H3)の、大手配給会社やシネコンの波に抗ってきた“仁義ある戦い”の軌跡のお話からは映画にかけるこだわりと情熱を感じました。立川香織さん(高45)のフルート、高橋孝子さん(高45)のピアノ、吉長孝穂さんのチェロによるトリオコンサートは、コロナ禍で疲れた心に染みわたるようでした。

感染対策にご協力いただきご参加くださいました多くの同窓生の方々にはあたたかい労いと感謝のお言葉を頂き、胸を熱くいたしました。来年は県外の方々にもご参加いただき、盛会となりますようお祈りしております。



校歌・讃美歌も心の中で♪

湊先生よりご著書寄贈

退任された湊晶子先生より、「広島女学院の土台を据えた先達から 現代を生きる私達へのメッセージ」1000冊が同窓会に寄贈されました。



竹内路子会長 湊先生 岩崎裕香副会長

ご希望の方は同窓会本部までご連絡ください。

TEL/FAX 082-221-1059

Email : gainses@crux.ocn.ne.jp

～追悼～ 音山幸子 東北ブロック長

四国ブロック長 田中 チカ子(大英17)

元東北ブロック長の音山幸子さん(高女49)の召天の報に接し、ひと言追悼のことばをお捧げしたいと思います。

この度改めて、ご自身の寄稿文(「思い出すまに」同窓会報第3号)を読み返し、まず、あの激動の昭和をかくもしなやかに見事に生き抜かれたものだと感服しました。音山さんと全国代表者会議で一緒したのは1990年代。大先輩という存在でした。広い東北ブロックのお世話をよく続けておられるな、また与えられた場で活躍される卒業生を知り感慨ひとしお。そんな広島女学院に連なった幸いを誇りに思いました。

本学院女学院に入学されたのが1930年代初頭。聖書の時間の学びから医学の道へ。信仰生活はご結婚後も山形本町教会で守られました。その間、支部間交流を活性化、現東北ブロックの立ち上げにも意欲的にかかわり貢献されたとお聞きます。

音山さんのご冥福を祈り、労いと一後輩からの感謝のことばを添えたいと思います。

「記憶の解凍」～戦争体験者の「想い・記憶」のあたらしい伝え方～



庭田 杏珠さん(高72)

渡邊英徳教授(左) 瀧井徳三さん(中央)

私は高校3年間、「記憶の解凍」プロジェクトを東京大学の渡邊英徳先生と進めてきました。原爆投下前の広島の写真AI(人工知能)技術でカラー化し、資料や対話をもとに「記憶の色」をよみがえらせ、戦争体験者の「想い・記憶」を未来へ継承したいと考えています。

高校1年生の夏、広島平和記念公園で偶然、瀧井徳三さんと出会いました。瀧井さんの生家は、原爆投下前4,400人が暮らした繁華街・中島地区(現在の平和記念公園)で「瀧井理髮館」を営んでいました。疎開先に持参した大切なアルバムには、戦前のご家族とのしあわせな日常を写した貴重な白黒写真約250枚が収められていました。瀧井さんとの出会いの1週間後、沖縄慰霊の日の講演で女学院に来校されていた渡邊先生のワークショップに参加し、白黒写真の自動色付け技術を学びました。

プロフィール

2001年、広島県生まれ。東京大学に在学し「平和教育の教育空間」について、実践と研究を進める。展覧会、映像制作、アプリ開発など、アートやテクノロジーを通じた戦争体験者の「想い・記憶」の継承に取り組む。国際平和映像祭(UFPFF)学生部門賞(2018年)、「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」外務大臣賞(2019年)、令和2年度学生表彰「東京大学総長賞」などを受賞。渡邊英徳氏との共著「AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争」(光文社新書、2020年)は「広島本大賞」(2021年)を受賞。2021年8月、HIPPY氏、はらかなこ氏と楽曲「Color of Memory～記憶の色～」、達富航平氏とMVを制作。



写真提供: 瀧井徳三さん(左から2番目)、カラー化: 庭田杏珠さん

「原爆で亡くなったご家族をいつも近くに感じてほしい」という思いから、カラー化を始めました。アルバムにしてプレゼントすると、「家族がまだ生きているようだ」と、とても喜ばれました。桜の名所・長寿園での花見の写真を見ながら対話すると、「杉鉄砲でよく遊んだなあ」と、白黒写真では思い出さなかった新たな記憶がよみがえりました。その後も、中島地区の元住民との繋がりが少しずつ広がっていき、高校2年生の時、文化祭など学内で2回、学外でも広島テレビ放送・渡邊英徳研究室主催で、広島テレビ新社屋完成記念として展覧会を開催しました。

展覧会の後、すぐに亡くなられた方もいらっしゃいました。私たちは、戦争体験者から直接お話を伺える最後の世代であり、「記憶の色」を伺える時間も限られていると改めて感じました。

2020年7月、渡邊先生と共著で出版した写真集『AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争』(光文社新書)は、発売後1ヶ月で、発行部数6万部を達成し、「広島本大賞」を受賞しました。今は、音楽とカラー化写真のコラボレーションを通して、「聴く・観る」人の「感性」に響き、戦争や平和に関心がない人も「自分ごと」として「想像する空間」を探究しています。これからも、私の使命を考えながら、地域社会や世界に貢献していきたいと思っています。



カラーでよみがえる ゲーンズ先生



庭田さんの後輩たちがゲーンズ先生の白黒写真をカラー化しました。

2022年ホームカミングデー のお知らせ

テーマ 集える喜び

日時 2022年4月23日(土)
10:30～13:30

場所 リーガロイヤルホテル広島
会費 8,000円

2022年ホームカミングデー
実行委員会当番学年

高校21	短大20	文英3	文日3
高校31	短大30	文英13	文日13
高校43	短大42	文英25	文日25

本年度は「学年幹事の集い」が中止になり、新旧ホームカミングデー実行委員会の引き継ぎが6月12日(土)に行われた。

2021 平和祈念式報告 8月6日

被爆76年の平和祈念式典は、コロナ禍のため、感染予防対策の中、執り行われました。インターネットライブ配信も実施されました。式前に、中学茶道部のお献茶の献納があり、岩崎裕香さんの司会、長谷川史先生の奏楽、渡辺校長先生の聖書朗読、高田園長先生の祈祷、三谷院長先生の式辞、竹内同窓会長・高校1年生の中川風音さんの追悼の言葉、刀祢館美也子先生の終禱と続きました。希望に満ちていたであろう330名の同窓生と20名の教職員の方々を追悼し、祈りを捧げました。中学YWCAのハンドベル演奏(録音)の中、献花が捧げられ、中学生全員が心を込めて折った折鶴が献納されました。



日本の学習マンガ カルチャーを世界に



田中 翔子さん (高57)
在ベルリン (写真:筒井義昭)

私はクリエイティブ・プロデュース会社WTFCと一緒に「学習マンガでAha!(わかった!)という瞬間を届け、世界の教育水準の底上げに貢献する」というミッションのもと、現在ベルリンと東京を拠点にAha!Comicsという学習マンガの事業を行っています。第一弾としてドイツ語のかけ算マンガを制作し、ベルリンを中心とした小学校や図書館へ約3000部マンガを無料配布しました。日本では、歴史から、科学、政治・経済、料理まで、たくさんの学習マンガに溢れています。子供から大人まで楽しく、簡単に学べるマンガは、学習方法の一つとして愛されています。しかしながら、マンガを使った学習法は世界的にみるとあまり一般的ではないことが分かりました。私が人口の4人に1人は移民という多様な人種が集まるドイツで、実際に生活することでそのことに気づき、アイデアを提案しました。

日本のこの素晴らしいカルチャーを世界にもっと広めたい! また、言葉を超えて、絵やストーリーで、わかりやすく伝えることができるマンガは、言語や文化、価値観が交錯する欧州の社会において、大きな役割を担えるのでは? と想い、2019年の夏、全く何も無いところから静かにスタートしました。

私たちが一番最初に作るべき学習マンガは一体何か? を考えた挙句、まず小学生へ向けた「かけ算」を届けることに決めました。かけ算は、初等教育の算数の基礎でありながら、世界的につまづきやすい単元のひとつです。日本とドイツの式の表記の違いや学習指導の違いに苦労しましたが、ベルリンの小学校の教諭の監修のもと、リサーチやヒアリングを重ね、細部まで丁寧にマンガを制作していきました。このマンガで子供たちがかけ算を理解し、算数を少しでも好きになってもらえることを心から祈っています。

世界各国を放浪していると、教育を受けることがいかに大変なのか、身に染みることがあります。「学習して知識やスキルを得る」ということは自分で人生を切り開くための武器です。私は幸運にも、これまで素敵な教育を受けることができたので、今こうして好きな場所で好きな仕事をして自由に生きています。その社会還元として、学習マンガを通し「学び」を世界中に届けられたら嬉しく思います。

プロフィール

多摩美術大学 情報デザイン学科卒。スタートアップのUX/UIデザイナーとして活躍し、インフォグラフィックスやアプリなど、わかりやすく使いやすいサービスを作る専門。ベルリン在住。Aha!Comics編集長。

支部会だより

鳥取支部 第一回鳥取支部会を終えて

6月5日(土) とりざん文化会館 参加者7名

昨年6月、本部からの要請に応じて鳥取支部を設立し、10月に支部会開催を予定していましたが、コロナ禍の為やむなく延期し、今年6月5日(土)に、念願の第一回支部会を最善のコロナ予防対策を取りながら開催致しました。7名という寂しい人数ではありましたが、初顔合わせに全員わくわく! 支部会を如何に浸透させるか、何処で開催するか等今後のあり方を協議する中で、共通の先生方、友人の話で盛り上がり、次回の再会を楽しみに散会しました。コロナが収束し、皆さんが安心して出逢える日が一日でも早く来ますよう、心から願っています。

神部 みゆき(高18大英18)



関東ブロック 原爆死没者追悼礼拝「夏雲の集い」

7月3日(土) 銀座教会 参加者34名

関東ブロック主催「夏雲の集い」は、今年34回目を迎え、コロナ禍の中だが、核兵器禁止条約が発効された記念の年なので少人数でも催したいと思い、銀座教会のご協力をいただき開催できた。

高橋潤牧師による「われらの罪を赦したまえ」というお話をいただき、礼拝の後はコロナ感染防止の為、DVDを鑑賞しようと、「四国五郎が絵本『おこりじぞう』に込めた思い」と題した息子の四国光さんの講演、そして、四国五郎さんの「戦争を起こす人間に対して本気で怒れ」という言葉を具現化したような、木内みどりさんの『おこりじぞう』の迫力ある朗読を視聴した。

白井 京子(高23文英5)



小さな祈りの 影絵展

一昨年まで元安橋の袂で展示されていた「小さな祈りの影絵展」が、今年はグランドプリンスホテル広島にて7月23日から9月30日まで開催されました。



同窓会作品 「祈り~命あふれる庭」
原画 野村 久子・古屋 ルリ
制作 同窓会本部幹事有志

花あやめインタビュー

聞き手 花 あやめ

本日のお客様

花 長身に映えるクールなジャージ姿。厳しさの中に見え隠れする男前な笑顔とユーモア。今日は、オリンピックイヤーにちなんで我が女学院の“アタックNo.1”こと、倉岡先生にお越し頂きました。

倉岡 ハハハ、お久しぶり。

花 ほぼ40年ぶりにお目にかかりますが、スリムな体型もお変わりなく、鮮やかなブルーのマニキュアのオシャレなこと♪

倉岡 ジェルネイルよ。毎月一回サロンでお手入れしてもらって7月はオーシャンブルーに。お台所も洗濯もしなくていいからね(笑)

花 まあ、素敵…。私は体育が苦手で苦痛で、先生にも近寄らないようにしていたのですが、先生はお小さい頃からスポーツ万能でいらしたんですか？

倉岡 生まれた時からずっと健康優良児で身長も群を抜いて高く、体を動かすことが好きでした。徒競走も絶対に負けたくない気持ちで走りました。まあ、いつも一番になるんですけどね。

花 すごい…。バレーボールをはじめられたのは？

倉岡 阿賀中の時です。もうバレーが大好きで、どうしたら呉一番の強豪校に勝てるのか必死でした。広高校2年の時に東京オリンピックで東洋の魔女の6人制バレーに衝撃を受けて、バレー部顧問の勧めで日本体育大学に進学しました。

花 バレー街道まっしぐらですね。

倉岡 当時、日体大のバレー部はインカレ10連勝中で日本一が当たり前。授業以外はバレー漬けの毎日で、まあ辛かったですね。こんなに苦しいことはないだろうと思うくらい、地獄でした。何度も、「もうやめたい」と家に電話しましたよ。

花 でもやめられなかった。

倉岡 やっぱり勝ち上がった。練習もつらいけど、負けるのはもっとつらいから頑張りました。2年からずっとレギュラーで闘いました。あの地獄の4年間を思えば、社会に出てからのどんなことも何でもないと思える程、人生の基盤になっていますね。

花 選手を続けようとは思わなかったのですか？

倉岡 持っている技術を後進に全部伝えたい、という思いの方が強くて、卒業後すぐ女学院に就職しました。

花 女子校で戸惑われたりはなさらなかったですか？

倉岡 いやいや、女子バレーも女子だけの世界ですから(笑)。女学院は大好きでしたね。ほんとと愛しています。みんな優しいし温かいし、幸せでした。体育科の福永先生、渡辺先生との結束も強くて、いい思い出ばかりです。着任当時、バレーボールの教員選手権大会は男子しかなかったの、女子教員団も立ち上げて1年目にベスト8、2年目に優勝しました。燃え尽きるまでとことんやらないと気がすまない性分なんでしょうね。

花 中高バレー部顧問時代の鬼コーチぶりは有名ですね。

倉岡 もう放課後が近づくと楽しみで楽しみでね、今日はどうやって鍛えてやろうかと思って(笑)

花 部員は部活前にみんな胃が痛くなっていたとか(笑)

倉岡 そうらしいね。でも勝てばみんなが嬉しいんだから、一つ一つ勝たせて強くしていきたい。教えるのが本当に楽しかったですね。

花 バレー部の生徒とは、卒業してからも強い繋がりがあるそうですね。よく一緒に飲みに行かれるとか。

倉岡 私はお酒がごはんですからね(笑)

花 ん？

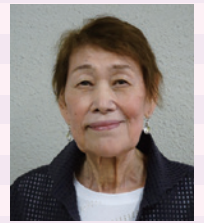
倉岡 ビールなら大瓶2~3本、ワインなら1本、芋焼酎は3合。お酒もとことん。こっちも中途半端は嫌なんよ。

花 どうやら「なんでもとことん!」がキーワードのようですね。全国の卒業生に、今、伝えたいことは？

倉岡 ここに来て健康の大切さを痛感しています。皆さんにはとにかく元気でいて欲しいですね。健康でありさえすればなんでもできますから。

花 そうですね。先生もどうぞお酒はほどほどに!先生とお話していると、どんな苦労もたいしたことではない、グズグズ言わずにとことん頑張らなくて!と思えてきます。お酒の席ではさぞや…ぜひいつかご一緒させていただきたい♪

倉岡 いいですね、行きましょう! 楽しみじゃねえ♪



恩師(中高体育科)
倉岡 克栄 先生



ヒロシマへの誓い 竹内道と共に

上映実行委員長 久保田 良枝(高26)

2015年の夏、同期の親友、NY在住の竹内道さんが、当時私が勤務していた原爆資料館学芸課を訪ねて来られました。サーロー節子さんの記録映画を欧米向けに製作しているとのこと。原爆投下当時日赤病院初代院長であった祖父についても調べたいと言われ、情報資料室で原爆投下1年後に発行された「月刊中国」という禁帯出の雑誌に、お祖父様の記事をみつけました。「なぜ他県出身の祖父が終戦後、広島を去らなかったか今やっと理解できた」と道さんは胸を詰まらせておられました。高校卒業後留学。NYで広告会社を起業し、ひたすらビジネスの世界で40年間生きてきた道さんが、被爆した家族の歴史に初めて対峙した瞬間でした。

その後、私は資料収集、広島NY間を往復する撮影隊のお世話など、日本側の調整役としてお手伝いをするようになりました。手持ち資金や撮影日数など大幅にオーバーし、5年の歳月をかけて2019年に英語版がようやく完成しましたが、コロナ禍のため予定していた各国の映画祭への出品が、軒並み中止となりました。私は、先ず女学院

関係者そして広島の方々への鑑賞を提案し、国内版用の字幕は、同窓会本部、支部、同窓生の方々からのご寄付で完成しました。劇場探しも苦心の末、八丁座での上映を快くご承諾いただき、コロナ禍で先が見えない状況の中、8名の仲間と共に上映実行委員会を立ち上げ、チケット販売、メディア等への告知を行いました。そして再度、同窓会からの特別なご協力や皆様方からのご援助をいただき、無事映画の初日を迎えることができ、2021年1月22日核禁止条約発効の日、広島で世界初の劇場公開となりました。1か月間で約2,000人、そして4月16日からは全国の劇場で順次公開され約6,000人の方々へ鑑賞していただきました。

お力添えを頂きました皆様お一人お一人に感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。



竹内道さん 筆者